

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (令和6年度) 2024年

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場所	会員参加数
	11	16	土	10:00	14:00	はちの巣保育園	9名
活動名称	はちの巣保育園イベント 竹細工支援					報告者：吉井 優	

1、活動目的

昨年に続き「はちの巣保育園」のスタッフから、第一はちの巣保育園のイベントでも、竹細工体験会を実施してほしいと連絡がありました。幼少のころから、親と一緒に竹細工などで、自然の素材にふれることで、地域の自然に対する理解と、好感度を高める効果があると信じ保育園とも協力していきます。

2、活動内容ほか

今年は、保育園のスタッフの要望により、だいこん弓矢体験を実施しました。だいこん弓矢体験は、毛呂山の大類の森プレーパークで実施し、好評をえていました。鶴ヶ島でも、10時の開始から終了時まで、入れ替わり体験希望者が絶えませんでした。安全でシンプルですが的を射るという達成感を刺激する体験のようでした、竹細工も常に一人は竹を切っているくらいには、希望者が体験していました、スタッフが十分な人数が集まったこともあり、せかさることなく、のんびり対応できました。いつもと同じ、花瓶、竹ぼっくり、竹のケンダマ、お椀、お皿などを作りました。

準備した竹は、去年の経験を踏まえ、孟宗竹1本と、真竹1本を倒して準備しましたが、ほとんど使いきりました。余った竹は昨年同様全て寄付することになりました。これからこの竹を使い、いろいろな竹細工活動を行うとのことでした。せっかく子供たちのために準備した竹ですので、こうして役にたってくれと、感無量です。

評価：

去年の第二はちの巣の竹細工のように、大盛況とはなりませんが、それでも竹細工体験をやりたい子どもたちは、数十人参加してくれて、一生懸命竹の切断作業をしていました。いつも思いますが、無心に竹と向かい合っている子供をみると、暖かく見守ってあげたい気持ちになります。この姿を見られただけで、竹細工体験を実施して良かったと思いました。

3、課題

竹細工活動の人気見通しが、なかなか把握できません。先月の西市民センターでは、ほとんど見向きもされませんでした。坂戸のプレーパークでは、孟宗竹2本、真竹2本分の竹を使い切るほど大盛況でした。五味ヶ谷里山体験会でも十数人が体験希望してくれました。

五味ヶ谷市民の森の竹は、たっぷりありますので、悩んだら多めに準備することにしましょう。

<里山クラブ参加会員>

小嶋、柳川、小沼、佐野、杉山

吉井、小澤弘、 撮影時不在 小澤邦、金

<活動写真>

